



平成 19 年 3 月 22 日

各 位

会 社 名 大証金(大阪証券金融株式会社)
代 表 者 取締役社長:大 津 隆 文
(コード番号:8512 東証一部・大証一部上場)
問 合 せ 先 取締役企画総務部長:西 山 剛
(TEL.06-6233-4510(代表))

平成 19~21 年度中期経営計画(単体)の策定について

本日開催の取締役会において、平成 19 年~21 年度における経営目標、数値目標等を盛り込んだ中期経営計画(単体)について決議いたしましたのでお知らせいたします。

平成 19~21 年度中期経営計画(単体)の概要...別紙

以 上

本資料には、当社の業績に関する将来の予想、見通し等の記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績の実現を保証するものではなく、不確実性やリスク要因が含まれているため、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。

平成 19～21 年度中期経営計画（単体）の概要

基本認識

使 命	「証券のための金融、証券による金融」を社会的使命として認識し、証券市場の発展に貢献する。
目 標	企業の持続的発展を通じ、関係者の期待に応える。 株 主：高い収益性の実現 お客様：ニーズへの対応、サービスの向上 従業員：「やる気」に応える職場の提供
行動憲章 行動指針	「企業行動憲章」を遵守し、「ゼロからのスタート」の精神で「ニーズ！スピード！チャレンジ！」を实践する。

経営目標

収益性	利益水準	ROE 5%の早期実現を目指し、収益力を強化する。
	配 当	年 6 円の安定配当を堅持する。好業績時（単体純利益で概ね 8 億円以上）には、配当性向 30%を基準に増配する。
健全性	自己資本比率	B I S 基準、証取法基準ともに高水準を維持する。
	格 付	格付け向上を目指す。

数値目標

（単位：億円）

	平成 18 年度(予)	平成 21 年度
経 常 利 益	7	17

（注 1）18 年度予想は 19 年 2 月 27 日現在

（注 2）21 年度目標の主な前提値

18 年度（2 月まで）と比べ、資金運用平均残高は 30%程度増加、短期金利は 1%程度上昇

平成 19 年度経営計画

経営目標

1	新商品の開発、サービスの向上、新規提携先の獲得に注力して、収益基盤の強化を図る。
2	財務報告に係る内部統制システムを構築するなど、適正な企業運営体制を整備する。
3	タイムリーディスクロージャーの推進、積極的な社会貢献活動を通じて、社会に開かれた企業を目指す。

重点戦略および貸出目標

- (1) 主要金融機関等との提携戦略の推進
- (2) 新商品・新サービスの開発
- (3) 次期システムの開発
- (4) 効率的な東西二極体制の整備
- (5) 重点商品の平成 20 年 3 月末貸出目標

信用サポートローン	750 億円
コムストックローン	210 億円
ビジネスローン	270 億円
株レポ	3,300 億円

以上

本資料には、当社の業績に関する将来の予想、見通し等の記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績の実現を保証するものではなく、不確実性やリスク要因が含まれているため、実際の結果と大きく乖離する可能性があります。